



あき とくべつてん
秋の特別展

「なつかしい暮らしと道具展」開催!

暮らしの道具のうつりかわりをたどり、便利で快適な暮らしがどのように追求されてきたのか、どのようにして持続可能な暮らしが実現されたのか感じることができます。展示を通して、これからの暮らしのあり方を考えてみませんか。



■常設展のみ(観覧、小・中学生は無料)			■特別展のみ			■セット券(常設展+特別展)			
	一般	団体	一般	団体	一般	団体	一般	団体	
大人	600円	480円	700円	560円	1100円	900円	大人	1100円	900円
高・大生	360円	280円	500円	400円	800円	600円	高・大生	800円	600円
小・中生	0円	0円	300円	240円	300円	240円	小・中生	300円	240円

※ 団体は30名以上のお一人様料金です。 ※前売り券(個人)があります。

先生、ちょっと聞いて!

秋の特別展 教員向け講座のお誘い



- 【日時】 令和5年10月28日(土) 9:00~ 受付開始
- 【時間】 9:30~12:00 2時間半
- 【場所】 いのちのたび博物館(特別展会場、講座室、バックヤード)
- 【対象】 教員 ※ 無料
- 【募集】 事前申込制(右のQRコードより電子申請にてお申し込みください。)
※ 教員限定のため、博物館のHPには公開していません。
- 【メ切】 10月21日(土) ※ 応募者多数の場合、抽選となります。
- 【内容】 1 オリエンテーション
2 特別展 解説
3 バックヤードツアーと「おかしな道具調べ」について(歴史)

小学3年の学習ですぐにでも使える情報満載です! 奮ってご参加ください!



ミュージアムのタネ

いま 今につづく 私たちの暮らし

私たちの社会は、自分たちの暮らしをより良くしようとした人びとの知恵と工夫が積み重なって今に続いています。4年生の社会科では、人びとの健康と生活環境を支える働きにより社会が成り立ち、私たちの暮らしは便利で快適に過ごせることを学習します。

しかし、残念なことですが、誰もが、生まれる以前にはどのような暮らしがあったのかを直接体験したり見聞きしたりすることはできません。その代わりとして、私たちが生まれる前の昔の道具のような「資料」を収蔵し、展示してみなさんに見ていただくのが博物館の仕事です。博物館では、昔の暮らしの様子や当時の道具を直接見ることによって学習できます。

例えば、文化学習園では、北九州市内に残る茅葺きの家をもとに150年前の民家を再現しています。実際に畳の部屋に上がれば、昔の道具を実際に触ってみたり、障子やふすまで仕切られた木の家の風通しの良さを体感したりできます。

この他、博物館には当時の写真データも収蔵しています。昭和時代に現在の北九州市内で市民が撮影したスナップ写真から、当時、市内電車が往来した街の様子や地域の景観、そして、私



【ちゃぶ台を前に家族写真 昭和24年(1949)12月】



【文化学習園の再現民家】

たちが知らない当時の人びとの暮らしを知ることができます。

今年の秋には特別展「なつかしい暮らしと道具展」を開催します。会期は10月14日(土)から12月3日(日)までです。北九州市が誕生した60年前の昭和38年(1963)前後のまちや暮らしの様子にスポットをあて、当時の家の一部を再現し、衣・食・住の道具や写真などから当時の社会と暮らしを探ります。博物館の「時間旅行」にぜひ足をお運びください。



【なつかしい暮らしと道具展 告知ポスター】

歴史課学芸員 中西 義昌